1992年4月26日発行

村尾光子の みなみかわち 町議会報告（第69号）

発行者:村尾光子（TEL:44-5418）
連絡先:南河内町薬師寺3，238-2
グリーンタウン122街区3



去る2月16日の町議会議員選挙にて、私は多くの皆様の支持を戴き上位当選を果すことができました。"金をかけずに手間ひまかけて"を合言葉に、多くの方々の手でなされた選挙運動の結果です。こんな運動方法、そして、過去12年間の議員活動が評価され、それが796票として表われたのだと大変嬉しく思います。と同時に、得票の重みを考えると責任の重大さをひしひしと感じています。

これからの4年間、『住民自治』を基本に、住民と共に歩む議員であるよう努力致します。どうぞよろしくお願い致します。

さて、3月4日から新しい任期となりこれまでに第1回臨時会(3月6~7日)、第1回定例会(3月10~21日)が開かれました。大変遅くなりましたが、今回は議会の人事を決めた臨時会について報告します。

議　長に塚　原　洋議員（3期目）
副議長に園部一栄議員（3期目）を選出

どちらも投票による選挙の結果です。

議長選挙		副議長選挙	
立候補者	得票数	立候補者	得票数
当選　塚原洋議員	14	当選　園部一栄議員	15
伊沢栄一議員	4	村尾光子	3

議会での選挙には2つの方法があります。
①指名推薦(全員が一致している時のみ)による方法と②投票による方法です。
過去12年間では指名推薦による選挙が行われたのは、私の記憶では議会選出農業委員の選挙の時の1回のみで、他はすべて投票(無記名)による選挙でした。今回も結果的には投票による選挙でしたが、投票の前に立候補し所信を表明する過程がありました。これはかつてないことです。

《経過》"議長の選挙について"が議案に上ったとき、伊沢栄一議員より『一部の議員が予め集まって人事を協議したようだが、議長に立候補したいので所信表明したい』旨の発言がありました。続いて小池議員、早川議員より『一部の議員だけで決めるのは民主的ではない。全員で話し合って決めるべきだ』という趣旨の発言がありました。直ちに暫時休憩をして全員で伊沢栄一議員の立候補表明発言を認めるかどうかを協議し、その結果『発言を認める』ことになりました。まず伊沢議員、その後、塚原議員からの表明がなされました。

次いで上程された副議長選挙についても、始めに村尾が、次に園部議員から立候補表明がありました。結果は前述の通りです。

☞これまで選挙の度に人事がらみのグループの存在を感じ、聞いてもいました。それは"主流派"とそれに属さない"非主流派"(私はどこにも属さないのでここに含まれる)です。だから、事前の会合があったと聞いても『やはりそうか』と思いました。

議会関係の役職は、全員で率直に意見交換して決めることが最も民主的な議会運営方法ではないでしょうか。まず意見交換·話し合いをし、それで意見が一致しなければ最終的に投票によれば良いと思います。今年の議員改選はこれまでのやり方を改める絶好の機会でした。そこで改選後、"主流派"会合の招集者は議長経験者ではないかと思われたので、私は前議長に『議会の人事は、まずは全員の話し合いで決めるようにして欲しい』と申し入れ、『同感。努力する』との考えも確認していました。

しかし、今回も今まで通り。

『"主流派"に属していれば年期順に役職』が実証されました。

私も本会議の前日、既に『結果』を聞き及んでいましたが、役職だけに執着するつもりはありませんが、議員の顔触れから私が最もふさわしいと自負しましたので、今回は次のような所信を述べて、敢えて副議長に立候補しました。

①過去12年間、一党一派に属さず住民派として誰よりも真摯に議員活動に取り組んできたつもりだ。その間、常任委員長·議会運営委員·広報委員等、議会の中核的役割を担い、見えない部分でも円滑な議会運営の推進に助力してきた。

②活動は町内のみに留まらず、県内各所に於いての講演や執筆を通し『南河内町の村尾』として、南河内町をアピールするのに貢献した。

③副議長職は議長を補佐するのは勿論で、『議会と執行部は車の両輪』でもあるが、執行部の監視機関という議会本来の機能を発揮すべく尽力したい。

④先の議員選挙では金をかけない選挙運動を展開した。その結果の高得票は、住民からの実績評価と今後の活動への期待が大きいと考える。

⑤女性の地位向上の視点から県下では先駆的な役割を果してきている。村尾の処遇は町外からも注目されている。

しかし、議会では全く評価されずでした。

ともあれ、事前の話し合いに声をかけられなかった議員は、私を含め5人いることが分かりました。何故なのか、その理由は分かりません。

新人5人全員が揃って多数派に入ったのは、民主主義を基本とするより将

来の我身を思ってなのかな・・・、とか、“主流派”は多数を占めることが確実なら今後も全体での話し合いはしないだろうな・・・、などと思い巡らせました。

★常任委員会委員：任期2年

議会委員会条例7条：委員は議長が会議に諮って指名する
会議に諮った結果、議長一任となりました。正副委員長は委員の互選です。

（敬　称　略）

総務(6人)	◎◆村尾光子　〇小池勝一 小林包房　伊沢栄一 ◆園部一栄　◆塚　原　洋
教育民生(4人)	◎◆舘野正明　〇大島将良 舘野安光　伊　沢　剛
経済(4人)	◎◆伊沢義雄　〇上野喜八郎 早　川　進　飯野兵二郎
建設(4人)	◎◆高山栄男　〇黒川英代 吉田浩二　永　吉　栄

【◎；委員長、〇；副委員長、◆；“議会だより”広報委員】

★議会運営委員会委員(4人)；常任委員同様の選出方法

◎高山栄男議員・〇村尾光子・舘野正明議員・伊沢義雄議員

★町消防委員（３名）の選任；議長一任　（敬称略）

大島将良・伊　沢　剛・永　吉　栄

★町表彰審査委員会委員（５名）の推薦；議長一任　（敬称略）

早　川　進・黒川英代・小林包房・上野喜八郎・小池勝一

★小山広域保健衛生組合議会議員（２名）の選挙；指名推薦、指名は議長一任

飯野兵二郎・園部一栄　（敬称略）

★自治医大周辺下水道組合議会議員（３名）の選挙；小山広域に同じ

高山栄男・舘野安光・村尾光子　（敬称略）

☞私は過去12年間のうち、2年間は総務、10年間は教育民生常任委員会でした。教育民生は最も関心のある分野ですので積極的に参加したいと思っていましたが、他の分野も勉強すべきかとも思います。しかし、自らの意志とは関係無く同じ常任委員会に10年以上も配属されている議員もあり、活動意欲が損なわれるのではと案じます。事前の“話し合い”は人事全般だったのかな。

小山広域保健衛生組合・自治医大周辺下水道組合の議員はこれまでは投票で選ばれていましたが、今回は結果的に指名推薦(指名は議長一任)となりました。私は下水道組合設立当初(s.58年)から63年までに続き、再び組合議会議員です。

傍聴感想

私は先日、正副議長選出の臨時議会を傍聴いたしましたが、未だによく納得できてません。ちょうど議長選出のための開票から拝見できました。
　１８の全体票で１４対４という数字は、聞き及んでいた、当日以前に行われる根回しの結果だろうと思いましたが、それがそのまま副議長選にも表れるなんて、予想してませんでした。これは私の知識不足でしょうか。私は村尾さんの所信表明の言葉を聞き、身贔屓でいうのではありません、副議長に立候補する決意はそのひとつひとつが納得できるものでした。ですから、開票が進んで、立会人のもと票が１５枚と３枚に机上で分けられていた時、１５はきっと村尾さんだろうと思い込んでしまいました。それが逆転の結果とは！
　これでは所信表明のことばも無に等しく、会議が始まる前から既に決まっていたポストなのですね。それならそれで正しい評価をされた上でのことなのでしょうか。一党一派に属さず、議員として、住民のパイプ役として、副議長という立場に立候補したいという意思表示。新住民だけでなく多くの旧来からの人々からの支持も得ている自分としての責任、これからの議員活動の指標としたいということ、etc.　まだまだ私の頭の中にあの時の村尾さんの表明のことばが残っております。より多くの人に聞いて欲しかったし、こういう現実も分かって欲しいと思います。
村尾さんの孤立した立場はまだ続いているのです。残念なことです。

―― ＧＴ３区　高橋佳枝 ――

今回の選挙費用は１５８，０５４円でした

《内訳》		
	ポスター・はがき印刷代	68,350
	拡声器借用謝礼	3,000
	ガソリン代	29,000
	食糧費	20,479
	文具・布地・手袋・ペンキ	4,425

費用はすべて皆様からの寄付金より支出し、運動はボランティアでなされました。多くの方々から様々な形でのご支援を戴き、誠にありがとうございました。寄付金の残金約２１万円は印刷機購入資金の一部として使わせて戴きました。

このほど、印刷機を購入しました。リソグラフＲＣ１１０です。
資金源は上記の寄付金・これまでの議員報酬残金・夫よりの借用金です。
　自治医大住宅自治会には長い間お世話になりありがとうございました。

☞印刷機は下記の実費でご利用できます。

マスター（原紙製版）３０円/枚 ＋ 印刷代 ０．１５円/枚

用紙はできるだけ用意して下さい。少量なら買い置き分の利用も可能です。

本州製紙 やまゆり １．４円/枚　　理想再生紙ＣＰ７０ ２．３５円/枚

但し、どちらもＢ４版の再生紙です。

この私製議会報告をお読み下さる方はご連絡下さい。お届けします。
これまでお読み下さった方には引き続きお届けします。